

# 全国で5点の優秀賞に輝く

## おもてなし弁当レシピ

3年生フードデザインの授業で製作した作品を「第64回全国高等学校PTA連合大会」として、和歌山大会おもてなし弁当コンテストに出品したところ、全国で5点の優秀賞に選ばれた。

いずれも優秀な36点から、高P連調査広報委員会と全国大会準備委員会が厳正な審査の結果の入賞となった。優秀賞に選ばれたのは、フードデザイン選択生徒の早瀬あゆ香さん、中瀬古菜耶さん、橋本映里奈さん、豊田茜さんの4人組。

和歌山県の産物を使い、地産地消を推進する内容で、保存性、大量生産を考慮するという条件だった。内容はマグロの蒲田揚げ、野菜の肉巻き、チンチャオチャオニューロウス、だし巻き卵など。

フードデザイン科では2学期の暑い時期、涼しい時間帯の授業の中でお弁当を作り、各自昼休みにクラスで食べるという取り組みをしている。その際の弁当を基本にし、考



## 高校PTA連和歌山大会

入賞について、指導した岡本先生は「熱心に取り組む、何事もいい加減にしないことが実を結んだ。4人で協力し合った結果」と喜んでいました。

選ばれた優秀作品は、大会で提供される弁当製造業者がイメージ本として使用し、和歌山県の大会に「さわしもの」に仕上げたいとのこと。

大会は平成24年8月本県で開催、全国各地より1万人の関係者が参加する。



整列した卒業生

## 130人に証書授与 第4回卒業式



卒業証書を受け取る西地亮君

## 「自分らしさを大切に」

第4回卒業証書授与式を1日に挙行了。本年度は男子62人、女子68人の計130人が卒業した。

七瀬校長は卒業生に対し、現在の社会状況は、物質的豊かさは実現したが、「人の心の貧困化」が問題になっていることを指摘。「人間らしく自分らしさを大切に、自己を主張して生きる」ことの大切さや、情報を主体的に判断し、それを

取捨選択できる力が必要であることを伝えた。そこで、「自主独立・自立更生」の言葉を送った。また、本校で学んだ人間として生きる基礎と土台を十分に活用して、いっそう磨きをかけて、いや、逆境の時こそ誠実な心で現実から逃避することなく、立ち向かい乗り越えてほしいと伝えた。

在校生を代表して七瀬校長は、「現在の日本は、政治・経済状況が混迷を極め、将来を見通すことが困難です。でも、どんな逆境も跳ね返して、この新翔高校で学んだことを糧に、それぞれの道で、校名のように新しく

## 喜びの声上がる 合格者発表



合格発表を見る受験生たち

18日午前10時、合格者の番号が正面玄関に張り出されると、喜びの声が上がった。友人と携帯電話で写真を撮ったり、家庭に連絡する合格者がたくさん見られた。総合学科153人が合格した。

## 先生の紹介 辻 強志先生



こんにちは、辻強志と申します。前任校は新宮高校で建設工学科の教員をしており、前年の4月に転任してまいりました。担当教科は工業で総合学科建設技術系列の選択生に

「土木基礎力学」・「実習」「製図」などを指導しています。今年度は2年生を担当し、クラブ活動では硬式野球部の顧問をしています。趣味は、写真や映像編集、釣り、映画鑑賞などいろいろあります。今年度は、ここ数年は趣味といえるほどのことができていないため好きなこととしておまかせます。

さて、本校に転任してから2年ほど早く過ぎました。転任して1年生の担任を受け持ちましたが、その生徒たちももう4月からは3年生となりまはす。これからの半年間は就職、進学と個々に違った目標を持ち、進路実現に向け取り組むことになりました。景気回復の兆しはつきりと見えてこない状況での東日本大震災と就職にはさらに厳しい状況が突きつけられたように感じられますが、進路実現に向け適切な情報を与え一人でも多く

の生徒が目標を実現できるように指導していきたいと思っています。

最後に、生徒たちには残されたあと1年の高校生活を悔いなく有意義に過ごすためにも、進路やクラブ活動などいろんなことにも、楽しんで、結果を恐れず、粘り強く最後まで真剣に取り組むことが自分自身の将来に大きく影響を与えると思います。もっともっと自分自身を磨き本校を卒業してほしいと思います。

## クラブ紹介 ハンドボール部



紀南地方の中学校にハンドボール部が無く、入部してくる生徒は全員が未経験者というチームです。

ハンドボールの魅力は、「走る・跳ぶ・投げる」といった3つの身体動作のダイナミックさで、そのスピード

現在部員は7人、マネージャー3人です。ハンドボールの魅力に引かれ、ハンドボールを心から好きなメンバーが毎日、練習に励んでいます。目標は「近畿大会出場」です。

## クラブ紹介 クラブ紹介

## 義援金募金活動に参加

### 生徒会執行部 ラグビー同好会 2年生女子

19日、新宮市社会福祉協議会が呼びかけた東日本大震災義援金募金活動に、生徒会執行部を中心に多数の生徒が参加した。



懸命に募金を呼びかける生徒たち

呼び掛けた。生徒会執行部は1・2年生の各クラスへも募金への協力を呼び掛けている。

## 各講師がアドバイス



熱心に説明に聞き入る生徒たち

15日午後、1・2年生を対象に進路アゼンブリーを実施した。1年生は、学年全体で「フリーターと正社員の違い」「進路の意識」という進路寸劇を見た後、幼児教育や建築など21講座に分かれて話を聞いた。2年生は、看護やスポーツ、デザインなど進路に関する18講座、就職・公務員希望に分かれて話を聞いた。

就職コミュニケーション能力講座では、面接の振る舞いの注意点を学び、寸劇で面接の失敗・成功例を見た。2年生の就職希望の生徒たちは「面接で気

## 障害者の生活と人権を考える

### 手話体験講座

2月24日、2年生を対象に恒例の手話体験講座を実施した。この行事は、人権LHRの一環として、市社会福祉協議会が開催する「福祉体験講座」を利用して、障害者の生活と人権について考えるために実施している。

この日は、手話通訳者

最後に習った手話を使ってあいさつの練習を行い、生徒たちが模範演技に挑戦した。



習った手話を練習する生徒